

# 市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2007年 6月号

平成19年5月25日発行  
通巻102号

## ◆発行◆

514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
http://www1.mienpo.net/npot  
三重県のホームページ  
http://www.pref.mie.jp

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

## 【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／  
分部分食／津中央郵便局ボランティア  
コーナー／(有)デザインオフィス  
萩野 ●四日市市●四日市市民  
活動センター／寺子屋プロジェクト  
●亀山市●亀山市市民協働セン  
ター ●鈴鹿市●市民ネットワーク  
すずかのぶどう ●松阪市●三重中  
京大学／松阪市市民活動センター  
／松阪まちづくりセンター『まちな  
の駅松阪「寸庵」』 ●伊勢市●特定  
非営利活動法人伊勢志摩NPOネッ  
トワークの会／いせ市民活動セン  
ター ●鳥羽市●鳥羽NPOネッ  
トワークセンター・結 ●名張市●名  
張市立図書館／名張青年会議所／  
皇学館大学名張キャンパス／名張  
市総合福祉センター／エコリソート  
赤目の森／名張市市民活動セン  
ター／くらしの情報センター同歩  
●伊賀市●ウリアム・テルズアプ  
ル まちづくりセンター／伊賀市中  
央公民館／伊賀市立図書館／上野  
青年会議所／伊賀市市民活動支援  
センター ●明和町●めいわ市民  
活動サポートセンター ●南伊勢町  
●南伊勢町町民文化会館

【地域の社会福祉協議会】県内の市  
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店  
／三重銀行各店／東海労働金庫各  
店／第三銀行各店／メディカルー光  
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール  
／三重県地域機関(各県民セン  
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、  
松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／  
三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／  
三重県総合医療センター／三重県立  
一志病院／三重県立志摩病院／三  
重県立こころの医療センター／齋宮  
歴史博物館／三重県立博物館／三  
重県立図書館／三重県生涯学習セ  
ンター／三重県男女共同参画セン  
ター『フレンドみえ』／三重県人権  
センター／三重県身体障害者総合福  
祉センター／三重県環境学習情報セ  
ンター／各市町役場

## 企業の地域支援<マッチングギフト>

～三重銀行のマッチングギフトによる支援で「チャイルドライン24」  
(子ども専用電話)がフリーダイヤルで継続されることになりました!～

企業のマッチングギフトとは、社員と企業が一体となって共同して行なう社会貢  
献の方法のことです。社員が自発的に行った寄付に対して、勤務する企業も上  
乗せして寄付をし、社員の社会への貢献を増額支持する仕組みで、「上乘せ寄  
付」とも言われます。

今回、三重銀行のマッチングギフトにより、「チャイルドライン24」(子ども専用電  
話)を運営する「チャイルドライン24」実施組織に対して支援が行われました。



### <「チャイルドライン24」の取り組み>

平成17年4月に県とNPOとの協働で、18歳以下の子どもの対象とした子ども  
専用のフリーダイヤル相談電話「チャイルドライン24」を立ち上げ、いじめ、虐待を含め様々な子どもた  
ちの悩みを受け止める仕組みを作りました。子どもの権利を念頭に、子どもたちを受け止める心の居場所  
づくりを目指しています。365日24時間の実施を目標に、現在も活動しています。

### <実施のための資金づくり>

平成17年度、18年度の2カ年は、県からの委託事業として実施するとともに、オレンジの羽根等による  
みえ子どもファンド、街頭での募金活動、支援会員・団体の募集等、民間での資金づくりに取り組みまし  
た。それでも実施にかかる費用の全ては賅えず、不足分はボランティアによる支援や、事務局からの持ち  
出しで運用してきたのが実態です。

### <民間の支援によるフリーダイヤル継続>

委託事業が終了した平成19年度は、フリーダイヤル(子どもからの電話料無料)で実施するための資金  
確保を最優先の目標に掲げ、MPDリーム助成金(三重県遊技業福祉連合会)の活用をはじめ、引き続き  
募金活動を行い、資金づくりに取り組んでいます。

今回、三重銀行が、地域貢献活動の一環として「チャイルドライン24」への支援を決定し、役員や職員の  
寄付に企業として上乘せするマッチングギフトの形で総額100万円の寄付を行いました。助成金や募  
金活動などによる120万円と三重銀行からの100万円の支援を合わせて、平成19年度はフリーダイ  
ヤルでの実施の目処が立ちました。実施にかかる費用を賅うためには、まだまだ資金が必要で、募金活  
動は引き続き行っています。

### <NPOと企業と行政の協働>

県は委託事業終了後も、広報用カードの配布や人材育成などで連携して引き続き支援を行っています。  
また、県内各地域では、活動するNPOや行政によるネットワークが生まれ、県内のボランティアが350名  
に増えるなど、子どもが育つ地域づくりが進んでいます。さらに、企業や団体など民間による資金的な支  
援により、「チャイルドライン24」の実施が実現しています。NPOと企業と行政の協働の実践であり、この  
ような地域での支えあいがあると広がり広がってほしいと思います。

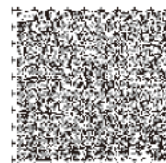
### <問合せ先>

#### 「チャイルドライン24」実施組織

514-0125津市大里窪田町2709-1 特定非営利活動法人MIEチャイルドラインセンター内  
Tel.&Fax.059-211-0024

### SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が  
「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情  
報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



このところ続けて収集ボランティア、特に古切手(古い切手ではなくて使用済み切手のことです。)の収集についてのお問い合わせをいただきました。新年度が始まってひと月経ち、継続されてきていることについての新しい意見や、あらためての意見が出てくる時期だからかもしれないですね。

現在、多くの方々が、職場やご自宅などで古切手を集めてくださっていると思います。さてさて、果たして集まった古切手はその後どうなるのでしょうか?

古切手や、他にも使用済みのプリペイドカード、書き損じのハガキなどを集めている団体は幾つかあります。収集後、バザーなどで販売され、その売上金がそれぞれの団体の活動費になっていきます。

私の所属する三重県社会福祉協議会でも古切手を集めていて、「お誕生日ありがとう運動」という知力にハンディキャップ(社会的不利)を持つ人々を支援する団体へ送られます。こちらの団体はホームページでこの古切手が活用されていく様子を写真入りで詳細に紹介していますから、是非ご覧になってみてください。

皆さまも、お手元にあるその古切手がどんな団体に届けられ、どんなふうに使われていっているのか一度調べてみませんか?

## みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ  
特定非営利活動法人(NPO法人)申請は2団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民センターに備え置いてあります。

### ●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)日本アフリカ音楽交流会(2)榎木恭子(3)伊賀市緑ヶ丘中町4403番地の5/【2】(1)国際文化芸術交流会 打・World at Qualia(2)伊藤弘典(3)桑名市長島町福吉942番地

(平成19年4月10日~平成19年5月9日申請分)

### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

四日市農地活用協議会(平成19年4月9日)/魅力発見木曾三川(平成19年4月12日)/リーブザベスト(平成19年4月24日)

(平成19年4月10日~平成19年5月9日)

### 携帯電話のメールによる情報配信開始!

「市民活動・ボランティアニュース」発行のお知らせなどを、携帯電話のメールで配信します。下記のアドレスに携帯電話から空メールを送信してください。登録に必要なのは名前とメールアドレスのみ。名前もニックネーム(ハンドルネーム)でOKです。

●E-mail/npo@pasoya.jp

## イベントスケジュール

### エコ・フォーラム

「多様な主体による温暖化防止活動の模索と展望」

三重県地球温暖化防止活動推進センター「キックオフ」

●とき/6月2日(土)受付9:00 開会9:30

●ところ/県庁講堂(津市広明町13番地津駅西口から徒歩10分)

●内容/三重県地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化防止の普及啓発を行う専門機関です。三重県は、本年4月1日、このセンターをNPO法人三重総合環境研究センターに指定しました。これを受けて開催するエコ・フォーラムではセンター長である朴恵淑さんの基調講演のほか、パネルディスカッションやワークショップなどを行います。ぜひ、ご参加ください。なお、ワークショップは翌日3日(日)10:00から引き続き行います。

●申込・問い合わせ先/三重県地球温暖化防止活動推進センター Tel.059-253-4197

### —当事者が語る・当事者と語る—『不登校とぼくの生き方』

●とき/6月2日(土)開場12:30 スタート13:00~15:30

●ところ/四日市文化会館第3ホール(四日市市安島2丁目5-3 Tel.059-354-4501)駐車場無料

●参加費/前売(事前予約)800円 当日1000円

●内容/講師の渡邊広史さんはフリースクール東京シューレの元子ども会員。小学生で不登校になり、4年半のひきこもりを経験した渡邊さんのお話を聞くことで、大人の不安や心配が整理され、子どもに対する信頼と希望を見出すことができると考えています。

●申込方法/予約無しの日参加も可能ですが、会場整理の都合上、なるべく事前に電話、Fax、E-mailで予約を。

●主催・申込・問い合わせ先/514-0006 津市広明町328番地津ビル NPO法人三重にフリースクールを作る会

Tel.・Fax.059-213-1115・1116

E-mail npo@mienoko.com

### チャレンジスクール三重相談会・説明会

●とき・ところ/【伊勢会場】6月3日(日)

サンワビル2階(伊勢市吹上1丁目3-22)

【松阪会場】6月10日(日)チャレンジスクール三重

●内容/チャレンジスクール三重は不登校・高校中退生自立サポートを行っています。スタッフが進路や学習・生活に関する個別の相談を受け付けます。詳細はお問い合わせください。

●申込方法/電話で事前予約。

●問い合わせ先/515-2322 松阪市嬉野町1430 一志久居教育会館2階 NPO法人チャレンジスクール三重

Tel.0598-42-8174

### 第8回佐々木正美先生講演会

子どもの発達~ワロンやエリクソンに学ぶ~

—発達障害児への応用—

●とき/6月3日(日)受付9:30 講演10:00~16:00

●ところ/伊勢市観光文化会館4階 大会議室

(伊勢市岩淵1-13-15 Tel.0596-28-5105)

●参加費/前売2000円 当日2200円

●内容/人が社会的人格を育んでいくプロセスを研究したフランスの精神医学者ワロンと、アイデンティティという概念を提唱したドイツの発達心理学者エリクソンの優れた理論、とそれらを応用して、発達障害の子どもについて佐々木先生にお話いただきます。

●応募締切/6月1日(金)

●申込方法/郵便局の振込書にて下記口座へ振り込み。受領証を聴講券としますので、当日受付にて提示してください。

郵便振替口座:00870-0-124326

加入者名:佐々木正美先生講演実行委員会

●問い合わせ先/伊勢市御園町高向682 Tel.&Fax.0596-29-0325(時間:17:30~19:00 第2・4・5土、日、祝日休)

●主催/佐々木正美先生講演実行委員会

### 木と水の環境を語り合おう(環境交流会)

●とき/6月9日(土)10:00~16:00(雨天決行)

●ところ/伊勢神宮内宮入り口の宇治橋前集合



- 参加費/1000円(昼食代・保険料等)
- 内容/午前中は内宮を散策しながら、御遷宮にともなう古材の行方についてお聞きます。五十鈴塾にて昼食・意見交換のあと、午後からは勢田川流域の“とおりゃん瀬”を見学。
- 持ち物/動きやすい服装、飲み物等
- 募集人数/先着20人程度 ●応募締切/6月5日(火)
- 申込方法/電話、Fax、E-mailにて名前と電話番号を下記まで。午前、午後のみ参加も可能。
- 主催・申込・問い合わせ先/めいわ市民活動サポートセンター  
Tel.0596-52-7129 Fax.0596-52-7739  
E-mail hearvo@ma.mctv.ne.jp

### みえ生と死を考える市民の会講演会 「人生の実力」2500人の死をみとってわかったこと

- とき/6月10日(日)13:00~15:00
- ところ/三重県総合文化センター フレンテみえ多目的ホール
- 内容/ひとつひとつの命が軽い時代ですが、人生の終わりにキチンと向き合っているなら、この毎日を生きる意味も深まるように思います。みえ生と死を考える市民の会では発足9周年を記念し、日本のホスピスケアの草分けとして活躍されている金城学院大学学長、柏木哲夫先生の講演会を開催します。なお、当日でも実行委員会の活動を手助けしてくれる篤志の方も募集中。
- 問い合わせ先/516-0805 伊勢市御園町高向927  
実行委員会(担当:遠藤太二郎) Tel.0596-20-8104  
Fax.0596-20-8105  
E-mail takuendou-gi@umin.ac.jp

### 生活なんでも相談会(タイ語)

- とき/6月17日(日)受付9:45 10:00~16:00
- ところ/四日市総合会館8階 第2・3・4会議室(四日市市諏訪町2番2号 四日市市役所隣) ●参加費/無料
- 内容/ビザ(入管手続き)のこと。配偶者のこと。国籍・市民権のこと。その他、日本での生活について、経験豊富な専門家があなたの相談に乗ります。プライベートな問題でも秘密は厳守されますので、安心して相談できます。同日12:00から、タイ王国大阪領事館が「移動領事館」を開催。
- 問い合わせ先/ピヤナン ソーパナシリ Tel.090-7044-4269 スリラット オオクボ Tel.090-9264-8252  
ルンナティー ヤマグチ Tel.090-7605-0086  
パタマー ミズタニ Tel.080-1629-0512

### 国際理解講座

- 1 「イスラム文化を知ろう!」  
●とき/6月30日(土)13:00~15:30
- ところ/アスト津3階イベント情報コーナー
- 内容/イスラムの国ヨルダンでの生活、イスラム文化についてのお話と座談会。モロッコ、インドネシアの料理を囲んだ交流会。
- 2 「アフリカを知ろう!」



- とき/7月14日(土)13:00~15:30
- ところ/白子公民館(白子駅すぐ)
- 内容/サハラ砂漠をラクダで横断、遊牧民との生活のお話。ケニアのダンス体験。マリ、タンザニアの料理を囲んでの交流会。
- 参加費(両企画とも)/無料・要事前申込
- 申込・問い合わせ先/津市羽所町700番地アスト津3階(財)三重県国際交流財団内 三重県JICAデスク(担当:湯木)  
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007  
E-mail jicadpd-desk-mieken@jica.go.jp

### 第③回 みえ母乳の会 母乳育児フォーラム

- とき/7月8日(日)14:00~16:00
- ところ/フレンテみえ多目的ホール  
(三重県総合文化センター内男女共同参画センター)
- 参加費/500円(会員無料。当日入会可。年会費2000円)
- 内容/2005年に「赤ちゃんにやさしい病院」に認定された山形市立病院済生館。認定に至るまでの取り組みや、母子同室、母乳哺育の実践を、同病院産婦人科部長の佐藤文彦さんにお話いただきます。その後、「みんなで語ろう!母乳育児Q&A」と題して、みなさんの日頃の疑問、質問に佐藤さんを中心にお答えします。お子さま連れの参加は可能ですが、託児(有料)も準備しています。人数に限りがあるので、希望者は事前に連絡を。
- 問い合わせ先/みえ母乳の会事務局  
Tel.&Fax.059-233-0166

## ネットワークのよびかけ

### ごみゼロキャラクター募集

- 「ごみゼロ社会」の実現に向けて、ごみ減量化・リサイクルの推進のため、バス広告・ホームページやパンフレットなどで活躍するキャラクターのデザインを募集します。「ごみゼロ社会」がイメージされる、明るく親しみやすいキャラクターで、そのキャラクターのコンセプト(作品意図)も添えて、ご応募ください。
- 応募締切/6月15日(金)17:00必着
  - 応募資格/三重県在住、三重県内へ通勤、通学している方。
  - 賞金/採用作品1点5万円(受賞者が高校生以下の場合、相当額の図書券)
  - 応募要領/一人何点でも応募できますが、1通(1枚)につき1点とします。他に類似するものがないもので、自作の未発表の作品。
  - 申込方法/応募用紙はホームページからダウンロードするか、最寄りの県庁舎内環境室(課)または市町の環境担当課にあります。【郵送の場合】応募用紙にキャラクターのデザイン1点を描き、必要事項を記入の上、用紙を折り曲げずに下記まで郵送。別葉にデザインした場合は、応募用紙の枠内に貼付。
  - 【E-mailの場合】デザインデータは15cm×15cm以内でJPEGかGIF形式のいずれかとして、ファイルサイズを500KB程度とし添付。また、指定の応募用紙に必要事項を記入し、デザインデータ



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

### 全国のNPO法人数はすでに3万を超えています...

平成19年1月に全国のNPO法人数は3万の台を超えましたが、年度毎の認証数は平成15年度から全国的には減少傾向にあり、反対に解散数は毎年大幅に増加しています。増加傾向は緩やかになると共に、解散する法人が年々増えています。

県内では、もっとはっきりとした変化が現れており、平成18年度に三重県が認証したNPO法人は41法人で、これは17年度の87法人に比べ半減しています。反対に解散数は18年度には15法人で17年度の7法人に比べ倍増しています。

たとえ解散してしまっても、またNPO法人を作ること自体は難しいことではありません。結構簡単にできる「再チャレンジ」といえるかもしれません。これからもNPO法人の数は増えていくでしょうが、なくなってしまうところもかなりあるといったかたちになりそうです。 三重県生活部NPO室 堀木俊哉

と合わせて、件名を「キャラクター募集」として下記まで送信。  
 ●応募・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地  
 環境森林部ごみゼロ推進室 ごみゼロキャラクター募集係宛  
 (担当:佐藤、中野) Tel.059-224-3126  
 E-mail gomizero@pref.mie.jp ホームページ http://  
 www.eco.pref.mie.jp/gyousei/keikaku/gomizero/

●主催・問い合わせ先／特定非営利活動法人MFA  
 Tel.059-320-0133 Fax.059-320-0134  
 E-mail webmaster@mfa.gr.jp  
 ホームページ http://www.mfa.gr.jp  
 ●共催／レディオキューブFM三重

## 助成金 ニュース

### 久居地区 平成19年度

#### ユニバーサルデザインアドバイザー養成講座

「ユニバーサルデザインのまちづくり」とは、障害者、高齢者等にとって暮らしやすいまちが、すべての人にとって暮らしやすいまちであるという認識に立ち、共に力を合わせ、人間性豊かな社会の実現を目指したまちづくりです。講座修了者には三重県より修了証書を交付します。受講資格は県内在住・在勤・在学の高校生以上の方。

【講座内容 全16講座】

- ・ユニバーサルデザイン(UD)概論 ・視覚障害者の基礎知識
- ・知的障害者の基礎知識 ・聴覚障害者の基礎知識
- ・肢体不自由者の基礎知識 ・高齢者、妊産婦の基礎知識
- ・障害者疑似体験学習 ・街角ウォッチング、ワークショップ
- ・UD関連条例 ・ハートビル法 ・記念講演など

※講座内容は変更になる場合があります

- 応募締切／5月26日(土)をめぐに。
- とき／6月2日～23日の毎週土曜日 9:00～16:10
- ところ／久居総合福祉会館(津市久居東鷹跡町20-17)
- 参加費／無料 ●募集人数／30人(先着順)
- 申込方法／郵便またはFax。
- 主催・問い合わせ先／514-1114 津市久居井戸山町283-8 ユニバーサルデザイン久居事務局(担当:高尾行信)  
Tel.&Fax.059-255-6127

#### 四日市まんなか子ども劇場会員募集

子どもたちが心も身体も豊かに成長するために、子ども体験と子育て支援の活動、親子で行う感性を育む生の舞台観賞などを通して、みんなの居場所をつくっています。詳細は問い合わせを。

【舞台観賞】

- 「かえるくん・かえるくん」人形劇団ひぼぼたあむ
- とき／6月17日(日) ●参加費／会員無料 非会員有料
  - 【月に一度の絵本のひろばとヘルシーランチ】
  - とき／6月5日(火)絵本のひろば11:00～ ランチ11:30～
  - ところ／四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所『きらり』
  - 参加費／ランチ900円 利用料300円(会員無料)
  - 内容／読み聞かせグループ『すのう ほわいと』による絵本のひろばと野菜中心料理『野恵都』のランチが子連れで食べられます。
  - 【ケロケロかえるくん リュックづくり】
  - とき／6月12日(火)10:30～12:30
  - ところ／四日市まんなか子ども劇場 みんなの居場所『きらり』
  - 参加費／300円(会員無料) 材料費400円
  - 内容／親子で簡単工作。紙袋がリュックに変身。
  - 問い合わせ先／四日市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.059-351-6670

#### 三重ボランティア基金助成事業

- 受付締切／7月10日(火)
- 助成の対象となる団体／現在、県内各市町社会福祉協議会にボランティア団体として登録され、福祉の向上を目的とした活動が計画的・継続的に行われ、地域の高齢者や障害者・児童等に対する支援を行っている団体。
- 助成の対象となる活動／(1)ボランティア団体基盤強化助成…福祉活動を目的としたボランティアグループの活動の基盤強化を図るための助成で、器材・器具のみの助成(1団体1回のみ)。
- 助成の額／1団体300千円以内
- 応募方法／申請書は、市町社会福祉協議会または事務局に設置。提出も市町社会福祉協議会。
- 問い合わせ先／(財)三重ボランティア基金事務局 津市桜橋2丁目131番地 Tel.059-227-9994

#### 平成19年度あしたのまち・くらしづくり活動賞

- 受付締切／6月6日(水)
- 助成の対象となる団体／「住み良い地域社会の創造をめざし、活発に展開されているコミュニティ(地域社会)づくり・くらしづくり・ひとづくりの活動に取り組む」住民集団・企業等。
- 助成の対象となる活動／【1. 住民活動分野】
- 1、食育推進活動部門…地域における多様な食育推進活動。
- 2、子育て支援活動部門…地域における多様な子育て支援活動。
- 3、まち・くらしづくり活動部門…次に例示する活動。
- (1)地域文化の振興、コミュニティ・スポーツ振興等の活動。
- (2)資源リサイクルや地域(地球)環境の保全等の活動。
- (3)地域の高齢化問題、福祉問題等に取り組む活動。
- (4)青少年の健全な育成等の活動。
- (5)まち・むらの景観や地域の快適環境(アメニティ)の創造、生活環境の改善等の活動。
- (6)地場産業の振興、特産品の開発等による地域活性化の活動。
- (7)その他、住み良い地域づくり・くらしづくり・ひとづくりを目指す活動。

【2. 企業の地域社会貢献活動分野】

- 1、企業の地域社会貢献活動部門…活動に特に部門を設けず、広く、地域社会に貢献する活動。
- 表彰／(1)内閣総理大臣賞 各部門1件 賞状、副賞10万円相当品
- (2)内閣官房長官賞 各部門1件 賞状、副賞5万円相当品
- (3)主催者賞 部門を通して5件 賞状 (4)振興奨励賞 賞状
- 応募方法／「応募活動の概要」はホームページからダウンロード。それとは別に「応募原稿」を作成。「応募原稿」は、自筆のものとし、活動記録と現在までの成果を4000字以内にまとめる。応募原稿の末尾に添付資料一覧を記入。応募原稿は、A4判、横書きとし、1枚あたり1800字程度。応募原稿とは別にワードまたはテキストファイルを添付。応募原稿等の送付は、郵便、宅配便又はE-mailにて。
- 問い合わせ先／財団法人あしたの日本を創る協会 東京都千代田区日比谷公園1-3 市政会館5階 Tel.03-3501-8001  
Fax.03-3501-8004 E-mail ashita@netjoy.ne.jp  
ホームページ http://www.ashita.or.jp/

#### 緑と水の森林基金

- 受付締切／6月15日(金) 必着
- 助成の対象となる団体／民間の非営利団体、法人、個人(調査研究に限る)。
- 助成の対象となる活動／以下の重点項目に沿った4分野の事業(普及啓発、調査研究、活動基盤の整備、国際交流の)に対し、重点的に助成を行います。【重点項目】
- 1「地球温暖化防止と森林」「地域材の利用」「森林と水」等の課題を中心とする総合的・効率的な普及啓発
- 2地域材の利用促進等山村資源の有効活用等による山村地域の活性化
- 3リーダーの養成等の森林ボランティア活動支援

## フリーマーケット情報

#### フリーマーケットin四日市ドームVOL.24

- とき／6月10日(日)10:00～16:00
- ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
- 入場料／前売315円、当日525円
- 内容／700ブースの巨大フリーマーケット。ウルトラビンゴゲームも開催。

4 学校林活動など森林環境教育等による次世代の育成  
5 森林の公益機能、木質バイオマス、森林環境教育等に関する普及啓発・調査研究

対象事業の期間 / 平成19年9月1日～平成20年8月31日  
森林ボランティア活動に対する理解とその社会的地位向上のため設定された9月第3日曜日の「森林ボランティアの日」に併せて、可能な範囲で事業の一部(または全部)を計画してください。

助成の額 / 限度は団体200万円(特別な事業は300万円)個人100万円。  
応募方法 / 申請書はホームページからダウンロードするか、返信用封筒に140円切手を貼付の上、下記まで請求。

問い合わせ先 / (社)国土緑化推進機構  
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451  
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

## 緑の募金公募

受付締切 / 6月15日(金)  
助成の対象となる活動 / (1) 一般事業...国内または海外で行う森林整備及び緑化推進の活動。

(2) 特定事業...『1.花粉の少ない森づくり』『2.災害に強い森づくり』『3 耕作放棄地の森づくり』『4.MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト』

対象事業の期間 / 平成19年9月1日～平成20年8月31日  
可能な範囲で、活動の一部または全てを「森林ボランティアの日(9月第3日曜日)の前後1ヶ月の間に実施するよう計画してください。

助成の額 / 一事業につき限度300万円。(特定事業は100万円)  
応募方法 / 応募要項などはホームページからダウンロード。郵送希望者は返信用封筒(120円切手貼付)に宛先を記入し、下記まで請求。

問い合わせ先 / 【国内で行う事業】  
(社)国土緑化推進機構 募金業務部  
102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451  
Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

【海外で行う事業】  
(財)国際緑化推進センター「緑の募金」国際緑化公募係  
112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル  
Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

## (社福)NHK厚生文化事業団「わかば基金」

受付締切 / 6月22日(金)必着  
助成の対象となる団体 / 地域で活発な福祉活動を進めているグループ。法人は助成対象外ですが、NPO法人は申請できます。

【第1部門(支援金贈呈)】  
支援の内容 / 1グループにつき上限70万円。約10グループ支援予定。申請書に希望する金額、使途などを明記。

【第2部門(リサイクルパソコン贈呈)】  
支援の内容 / 1グループ原則3台まで。全50台を支援予定。申請書にパソコンの使用目的を明記。パソコンに搭載するソフトは、ウィンドウズXP、およびワードとエクセルとします。

応募方法 / 申込書は下記より電話にて取り寄せるか、ホームページからダウンロード。申請は郵送のみ受付ます。Faxでは受付できません。  
申込・問い合わせ先 / NHK厚生文化事業団東京本部 150-0041  
東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル Tel.03-3476-5955  
ホームページ <http://www.npwo.or.jp>

## 2007年TOTO水環境基金

受付締切 / 6月25日(月)必着  
助成の対象となる団体 / (1) 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)

(2) 地域(日本国内)に根ざした活動をしている団体、または日本国内に本部を有する団体で、海外に支部(現地拠点)あるいは現地カウンターパート(現地NGOなど)を有し、現地スタッフが活動している団体。

(3) 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体。  
助成の対象となる活動 / 対象地域は日本国内およびアジア。地域の水と暮らしの新しい文化の実現に向けた実践活動。地域の水と暮らしの関係についての調査研究活動。

対象事業の期間 / 平成19年10月1日～平成20年9月30日  
助成の額 / 総額1億円以内。助成件数は30件程度。  
応募方法 / 応募書類はホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は郵便番号、住所、団体名、担当者名、電話番号を記入しFaxにて下記まで。応募は郵便または宅配便を利用。

問い合わせ先 / TOTO株式会社 総務部 TOTO水環境基金係(担当:清水、浜田) 802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1  
Tel.093-951-2052 Fax.093-951-2718 ホームページ <http://www.toto.co.jp/company/mizukikin/oubo.htm>

## 野村国際文化財団 芸術文化助成

受付締切 / 6月25日(月)必着  
助成の対象となる活動 / 【(1)美術】既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するものに対する助成。その他美術教育に係わる催事。

【(2)音楽・オペラなど】オーケストラ、室内楽、独奏、合唱等の活動で教育プログラムを重視した催事への助成。音楽家の海外留学又は研修への助成。音楽普及と向上を目的とした国際的活動への助成。

【(3)芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成】  
助成の対象となる団体・個人 / 助成対象となる活動を行う団体および個人。外国人の場合、日本国内における受入れ責任者(団体)が代わって申請。

対象事業の期間 / 下半期(平成19年10月～平成20年3月)の活動。上半期(4月～9月)の活動は12月25日に募集締切があります。

応募方法 / 申請書はホームページからダウンロード。手書き希望者はPDFファイルを、パソコン入力希望者はEXCELファイルをダウンロードすること。郵送希望の場合は郵便、Faxなどで申請書の種類(A美術団体、a美術個人、B音楽団体、b音楽個人)送付先住所、氏名および連絡先電話、Fax番号、E-mailアドレスを記入のうえ、下記まで請求。申請は郵送にて。

問い合わせ先 / (財)野村国際文化財団事務局  
103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1  
Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522  
ホームページ <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/>

## ドコモ市民活動団体への助成

受付締切 / 6月30日(土)  
助成の対象となる団体 / (1) 日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体で特定非営利活動法人(NPO)等の法人格を有するもの。

(2) 活動実績が2年以上である団体(NPO等の法人格を有する以前の活動実績を含む)

(3) 複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織(各地のNPOセンター等活動支援団体)が代表申請団体となる場合は、その協働グループ。助成の対象となる活動 / テーマは「子ども育成」「子どもを守る」をキーワードに、家庭内・地域社会等の中で弱い立場にあり被害を受けやすい子どもたちにふりかかる問題 ex.児童虐待、非行、不登校、ひきこもり、貧困、地域犯罪等)に取り組み、子どもの育成のために活躍している団体。

対象事業の期間 / 平成19年10月1日～平成20年9月30日  
助成の額 / 1件あたり標準50万円、上限200万円。総額2500万円以内。

応募方法 / 申請書はホームページからダウンロード。応募は郵送(簡易書留)。  
問い合わせ先 / NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド 事務局(MCF) 107-0052 東京都港区赤坂2-4-5 国際赤坂ビル19階  
Tel.03-5545-7711 Fax.03-5545-7722 E-mail  
info@mcfund.or.jp ホームページ <http://www.mcfund.or.jp/>

## 丸紅基金社会福祉助成事業

受付締切 / 6月30日(土)消印有効  
助成の対象となる団体 / わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

助成の額 / 総額1億円をめぐりに50件以上。1件あたり原則、上限200万円。  
応募方法 / 所定の申込用紙、添付書類を送付。申込用紙はホームページからダウンロードするか、郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、Fax番号を明記し、ハガキまたはFax、E-mailにて下記まで請求。

問い合わせ先 / 社会福祉法人丸紅基金  
108-0014 東京都港区芝5-20-6丸紅東京本社三田別館4階  
Tel.03-5446-2474・2475 Fax.03-5446-2476  
E-mail [mkikin@marubeni.com](mailto:mkikin@marubeni.com)  
ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/index.html>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

# つながれ!.....NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

## 今日特集 行政とNPOの協働最前線を行く!

### NPOからの協働事業提案実践報告会 2007

NPOからの協働事業提案は、NPO室が平成15年度から行っている事業で、多様な主体の活動から見てきた課題を解決するため、企画段階から県と協働し、「事業の構築・推進」を目指す提案を、NPOから募集するものです。1年間、行政と民間のサポート委員によるサポートを受けながら、関係者間で解決方法を探り、仕組みづくりをしていく試みです。

新しい社会的課題に意欲的に取り組むNPOの提案は、新しい課題であるが故に、時に理解不足に悩み、法律や制度が整備されていないという壁に突き当たるなど、すぐに解決できるものではありません。



(特活) みどりの家

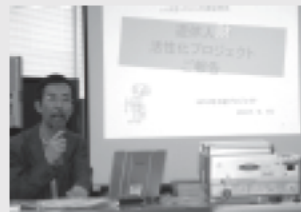
昨年(平成18年)度は、「新たなごみ減量化(3R)システム構築事業(みどりの家)」「若者無業者を生まないための高校学齢の不登校生・高校中途退学者・無就学者支援ネットワーク事



(特活) チャレンジスクール三重

NPO室では、新たな社会的課題に取り組むNPOのチャレンジを応援するため、平成19年度も協働事業等の提案を募集しています。

業(チャレンジスクール三重)「遊休人財活性化プロジェクト(NPO寺子屋プロジェクト)」の3件が選定され、5月15日に1年間の取り組みの報告が行われました。



NPO寺子屋プロジェクト

**お問い合わせ：三重県生活部NPO室**  
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階  
TEL.059-222-5981 FAX.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
URL <http://www1.mienpo.net/npot/>

## 中間 中間支援組織担当者 支援 ネットワーク交流会

5月15日に開催された中間支援組織担当者ネットワーク交流会は、8団体14名が参加して行われました。今回は、新年度事業の情報交換と相談を含めた意見交換が行われました。

みえ県民交流センターの指定管理者制度導入(平成21年4月予定)について、検討が始まったことへの関心は高く、すでに指定管理者として実績を持つ地域のセンターからの事例紹介や市民活動支援機能の維持を求める声もありました。

今後、具体的なケーススタディとして注目し、話し合っていくことになりました。関心をお持ちの方は、ご参加をお待ちしています。

### 【協働勉強会】

日時:6月13日(水)午後1時30分~4時30分

### 【交流会】

日時:7月23日(月)午後1時30分~4時30分

※どちらも場所は、みえ県民交流センター 交流スペース



## 地域 小さな町に“協働”の萌芽 情報 紀宝町ボランティア市民活動センター

平成19年5月、県の一番南で、社協提唱型の「ボランティア・市民活動センター」が動き出します。

今までのボランティア活動に加え、さらに密着したボランティア活動や市民活動との連携と各団体の発展を目的に、事業や機能を充実し、ボランティアセンターが、ボランティア・市民活動センターとして生まれ変わりました。

新緑がまぶしい5月

9日に出席者115名が集まり、設立総会が行われました。新センターは登録団体54団体、登録者数のべ1,370名と、人口13,000人弱の新「紀宝町」の約1割にのぼります。紀宝町の民間支援組織として住民と行政が協働することによりよいまちづくりを目指します!



熱気あふれる  
紀宝町ボランティア・市民活動センター設立総会会場

### お問い合わせ:W.T.Aまちづくりセンター

〒518-0867 三重県伊賀市上野福居町3317番地  
TEL.0595-24-7612 FAX.0595-22-0072  
E-mail nagi\_47\_4\_3@yahoo.co.jp  
URL [http://www.geocities.jp/william\\_tells\\_apple/](http://www.geocities.jp/william_tells_apple/)

### 紀宝町ボランティア・市民活動センター

〒519-5701 南牟婁郡紀宝町鶴殿1074-1 紀宝町福祉センター内  
TEL.0735-32-0957 FAX.0735-32-0958  
E-mail volunteer@kiho-shakyo.or.jp  
URL <http://www.kiho-shakyo.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。視覚ハンデを持ちながら、ハーモニカの演奏をボランティアで行っている伊藤静生さんからバトンが渡ったのは吉村陽子さん。印刷物を朗読し、音訳データにするボランティアを始めて、今年で8年目を迎えます。

**本や冊子を音にして、視覚障害者に届ける朗読ボランティア**

……朗読ボランティアの活動を教えてください。

私は三重県視覚障害者支援センター(旧名称・三重県点字図書館。以下、支援センターと略)を拠点に活動している三重県声のポスト友の会に属しています。主な活動は「声のポスト号」の発行。これは視覚障害者の方のために、月に1回、週刊誌や雑誌、新聞などから記事を選んで、90分のテープに5~6人が分担して吹き込んでいます。あと、夏には利用者のお便り、冬にはスタッフが年賀状代わりに近況などを吹き込んだ特集号を発行していますので、年14本のテープを作っています。利用者の方は130人ぐらい。県内が主ですが、県外に移転された方でも希望されればお送りしています。視覚障害者の方は健常者が得る情報の2割ほどしか、情報を手に入らないということですので、少しでも情報をお届けしたいと思っていますが、主婦感覚で記事を選んでいきますから、いろいろとご不満もあるかもしれません(笑)。この他、県議会だよりや観光みえ、県が発行する様々な冊子なども音訳しています。

……ボランティアを始めたきっかけは?

私は子育てが好きで、子ども中心の生活をしていましたが、長男が高校一年生になった頃に、そろそろ子離れしなくては…と思ひました。子育てに代わる(笑)、打ち込めるものを探そうになりました。その時に見つけたのは絵本の読み聞かせ講座です。息子たちにも絵本の読み聞かせはしていましたし、読むのは好きでしたけど、子どもたちに見つめられながら絵本を読むのがとても恥ずかしくて(笑)。あと、小学生の時に担任の先生が給食の時間に、「トムソーヤの冒険」や「小公子」など、子ども用の名作を少しずつ読み聞かせてくださったことが、とても印象に残っていましたので、絵本よりも長い物を読みたいと思っていました。その時に、三重県点字図書館(当時)の朗読ボランティア講習の案内を見て、応募しました。

……当初の目的は「誰かのために…」ということではなかった?

どちらかと言えば、自分が読みたいという気持ちからでした。申し訳ないことですけど(笑)。でも、今一緒に活動している方たちが「動機は何でもいいのよ。続けてくれれば」とおっしゃってくださるので、ちょっとホッとしています。



三重県声のポスト友の会

**吉村陽子** さんに 聞く

……朗読ボランティアになるには?

年に1回、秋頃に三重県視覚障害者支援センターが初級講習を行いますので、それを受けていただきます。その後、県内に朗読グループが11団体ほどありますので、そこに属していただければ活動ができます。募集の記事は各市町の広報にも掲載されますし、最近では新聞などにも載るようです。あとは習熟度に応じて、支援センターの審査を受けて合格すると、支援センターの蔵書となる様々な本を音訳することができるようになります。審査は年2回あり、前回は15~6人ぐらいが応募され、その内の7~8人が合格したそうです。審査に合格する期間は個人差があって、私の場合は幸い、割に早く合格することができました。審査は必ず受けなくてはいけないものではありませんから、その方の考え方によっては蔵書にこだわらず、広報や情報誌だけを音訳してみえる方もいます。

**文章を音にするのが好き**

……朗読の作業はどこで行うのですか?

「声のポスト号」は共同作業ですので、津市にある支援センターで録音しています。メンバー持ち回りなので隔月で3日ぐらいです。蔵書の音訳は自宅で行っています。もちろん、自宅で録音するのが無理という方は所属グループの録音室などを使われていますよ。

……自宅に録音用の機械があるのですか?

全部自分で揃えました。今はパソコンを使って録音しています。

……自宅の場合、周囲の雑音が入ったりすることはありませんか? この辺りは静かですし、パソコンで録音すると生活音をカットしてくれるので大丈夫。オーディオインターフェースという道具はつけますが、ノートパソコンをお台所に持ち込んで録音することもあります。カセットテープに録音していた頃は小さな音まで拾ってしまうので、真冬でもエアコンやストーブが使えませんでした。いっぱい着込んだ上に、電気毛布をまとって、更に録音機の周りも暗室のように囲って、その中に潜り込んで録音していました(笑)。それを思うとすごくラクになりましたね。私は主婦ですから、生活するだけならパソコンは必要ありませんでした。でも、障害を持った方たちのために便利な方法や機械が開発されていくのはいいなと思っています。

……パソコンはどうやって覚えたのですか?

デジタル編集作業を勉強するうちに、使えるようになりました。使いこなせるようになるまで2年ぐらいかかりましたが、そのおかげでインターネットの使い方など、別のスキルも覚えました。

……デジタル編集の利点は?

訂正が簡単になりました。テープ録音の時は、間違った部分が1分なら、その1分という時間に収まるように録音し直さなくてはいけませんでした。1行抜けていたら、やり直しです。でもパソコンなら、後から途中部分に吹き込んで、自動的にはめ込んでくれます。

……保存もデータで行っていますか?

今、データで保存して、やり取りすることを試行していますが、納める時にはCDかテープに録音しています。テープは音の劣化が激しいですし、現存のテープも今、CDに移し替える作業をしています。利用者の方はテープを利用している方がまだまだ多いですから、私はCDとテープ、両方作っています。

……支援センターの蔵書データは県内のみで利用するのですか?

ビブリオネットという全国ネットがあり、日本中の方に聞いていただけるようになってきました。ですから別のセンターで着手した本は音訳せず、まだ手をつけていない本を音訳するようになってきました。

……読む本は自分で選べるのですか？

私たちの場合は、支援センターが選書したものを順番に担当することになっていますので、自分の意志では選べません。基本的には1タイトルは一人が担当。シリーズ物の場合も、同じ人が読むようになっています。

## どこまで感情を入れて読むのか ということ、音訳の世界では 永遠の課題でしょう。

……時間はどれくらいかかりますか？

支援センターの希望は4ヶ月間ぐらいです。ただ、自分が読み上げるだけではダメで、その後、校正に1ヶ月は確実にかかります。録音データを全て聞いていただく校正が2回と、訂正ヶ所のチェックをする部分校正が1回。合計、3回は校正します。

……間違っていることもあるのですか？

いっぱい(笑)。てにをはとか、漢字の読み方ですね。漢字は表意文字ですから、普段は正確な読み方を意識しなくても、見れば意味が通じてしまいます。でも、それを実際に音にするとなると…。あと一般名詞はいいのですが、名前や地名などの固有名詞はいろいろな読み方がありますから、事前に正確な読み方を調べないといけません。例えば「北川」。伊豆の方ではこれを「ほっかわ」と読むのだそうです。固有名詞には思いがけない読み方があるので、特に注意しています。

……自宅なら一日、何度も時間を分けて録音できますね。

それができる方もいると思いますが、私は少し喉が弱くて、ちょっとしたことで声の調子が代わってしまいますので、用事の無い、一日録音にかかれる日にまとめてしています。時間は午前中に2時間、午後にも2時間。それ以上になりますとやはり喉が疲れてきます。

……朗読は標準語ですものなのですか？

全国で聞かれることになりましたから、標準語です。でも、地元の広報などは土地のアクセントが入った方が、親近感があります。

……ニュースと文学では読み方も変わってきますか？

朗読ボランティアが始まった当初は「淡々と読む」ことが第一で、棒読みのような感じだったそうですが、印刷物などを読みとって音に替える機械の性能も良くなっていますので「棒読みなら、機械に読ませた方がいい」というご意見もあって、以前よりは情景が伝わるような読み方に変わってきています。例えば「あ」という言葉でも、思い出した時の「あ」、驚いた時の「あ」では全然、音が違いますよね。間違った音を出すと、利用者が混乱しますから、音を聞いただけで状況がある程度想像がつくように選択します。でも、どこまで感情を入れて読むのかということは、音訳の世界では永遠の課題でしょう。

……利用者との交流もあるのですか？

三重県声のポスト友の会は利用者との交流会も行っていますの

で、いろいろとお話を聞くことができ、利用者に育てていただいていると感じますね。利用者と交流することで「見えない」ということがどういことなのかを、体感することができます。お芝居などの朗読の場合、本の中に絵や写真、地図、表などがあっても読みませんよね。でも、私たちはそれも言葉で説明しなくてははいけません。そんな時に利用者のことをわかっていると、どう処理するのが一番良いかがわかります。朗読ボランティアを育てるのは利用者の方。少々、拙くても「ありがとう」とおっしゃっていただけますが、それじゃ朗読ボランティアが育ちません。「聞きやすいテープが欲しいのなら、どんどん文句を言ってください」って、利用者の方に言ってます(笑)。

……利用者との個人的なつきあひもあるのでしょうか？

一人で北海道旅行をされた視覚障害者の方をセントレアまで送迎したこともありますし、今年の1月には新潟県の視覚障害者グループが設営したスキーツアーに参加しました。

……視覚障害の方はどうやってスキーをするのですか？

最初はハンディのあるなし関係なくみんな同じで、滑る、曲がる、止まるという動作をマンツーマンで覚えてもらいます。それがある程度できるようになったらグレンデを滑るのですが、その時はスピーカーを背負ったガイドが先導します。スピーカーからは常に音が流れているので、それを聞きながら、後をついていきます。曲がる時などはガイドが「ターン」と声をかけます。

……前回登場の伊藤さんもそうですが、ハンディを持った方が、活動的になっていますね。

ハンディを持った方を見かけると「何かお手伝いしたいな」と思いつつも、遠慮してしまうことがありますから、ハンディを持った方から「手伝って」と声を掛けるなど、周りを巻き込んでくださるといいですね。

……朗読ボランティアを増やすためにはどうすればいいのでしょうか？  
本が好きの方が朗読に憧れるのか、初級講座を受けられる方は多いのですが、活動そのものは地味ですし、時間もかかりますので長く続ける方は少ないですね。でも、自分では選ばないような本に出会うこともありますし、地名などの読み方など、これまで知らずにいたことを知ることができるのは楽しいと思います。朗読の技術も読んでいるうちについてきます。私たちの先生は「朗読は読み解きの作業」とおっしゃいますが、長く続けていると何度も下読みしなくても、意味が取れるようになってきますし、経験の力は大きいですね。

……熱意を持続するには？

朗読が好きだということ。私は文章を音にすることがとても好きで、いつまでもこの活動を続けたいので、自分はもちろん、家族みんなにも元気でいてもらわないといけません(笑)。

……ご家族の理解は？

お陰様で、全面的に協力してくれますので、ありがたいと思っています。朗読中は子どもたちも音をひそめてくれますし、夫もソーツと戸の開け閉めをしてくれます(笑)。

三重県視覚障害者支援センター図書部門

Tel.059-228-6367

(朗読ボランティアについての問い合わせ先)

吉村陽子さんはこの人を紹介します。

吉川美智子さん

「なのはな文庫」として、自宅を子どもたちに開放するほか、絵本の読み聞かせも行っています。



朗読の様子。マイクにタオルが巻いてあるのは、体などが当たって音を立てるのを防ぐためです。

お  
ね  
が  
い

市民活動・ボランティアにニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

- (1) 原稿はにニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。
- (2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。